

サブスク の 歴史

2005

Amazon Prime サービス開始。開始当初のサービス内容は送料の優待等。

2007

Amazon Prime、日本国内でサービス開始。

2011

Hulu、日本向けサービスを日本テレビに売却、以後日本法人は独自の経営。先行してサービス開始していた BeeTV を取り込み形で d マーケット VIDEO ストア powered by BeeTV（現在の dTV の前身）サービス開始。

2015

Apple、音楽配信サービス Apple Music を開始。Net flix、日本国内でサービス開始。

2018

YouTube、広告の表示停止と音楽配信などを行う YouTube Premium のサービス開始。

1999

Net flix、いわゆるサブスクリプション型の期間中ビデオ借り放題サービスをアメリカで開始。

2006

現在の Amazon Prime Video の前身となるサービスが開始。のちに Amazon Prime に統合。

2008

動画ストリーミングサービス Hulu 開始。音楽配信サービスの Spotify、サービスを開始。

2014

YouTube premium の前身となるサービスが開始。

2016

Spotify、日本国内でサービス開始。Amazon、動画配信サービス Amazon Prime video を開始。

2019

トヨタグループ、定額で車に乗れるサービス KINTO ONE を開始。ウォルト・ディズニー・カンパニー、動画配信サービス Disney+ を開始。翌年6月日本でもサービスを開始。

サブスクリプション イタスピアション

近年著しくその存在感を増してきた「サブスクリプション」型のサービス。月や週といった決められた期間ごとに料金を払い、その期間特定のサービスを受けられるという形式のサービスだ。その代表例というべく「Amazon Prime」や「Netflix」などもはや日常の一部といっても過言ではないだろう。そしてサブスクはただ普及するだけでなく、その種類までも大きく増やしている。今回はそんなサブスクの世界を覗いてみよう。

食

第三次産業が発達した現代では、数多くのサブスクサービスが存在する。衣食住など実用的なものから、娯楽要素の強いもの、風変わりなものまで様々だ。ここからはそんなユニークなサブスクたちを紹介していく。

紹介するのは「Coke ON Pass」。日本コカ・コーラが始めた自販機のサブスクだ。加入していると、対象の自販機で1日1本好きな飲み物を受け取れる。月額2700円で、ひと月30日と考えると1日あたり90円。毎日160円の飲み物を選べば日ごとに70円浮く計算になる。毎日でも、月に20日ももらえれば十分に元がとれる。普段からそれくらい買う人でないと出費は増える。でも喉が渴いたその時にためらいなく1本のコーラを飲める、ただそれだけで2700円の価値はあるかもしれない。

ワセメシの代表格といえば、なんといってもラーメンだ。毎日のようにラーメン店に通い、出費に頭を悩ませる早大生も多いのではないだろうか。そんな早大生に紹介したいのがラーメンのサブスク。大学から少し足を延ばした場所には、定額で食べ放題を楽しめるラーメン店も存在するのだ。高田馬場にも店舗を構える野郎ラーメンは「1日1杯野郎ラーメン生活」パスポートを提供しており、月額8600円を払えば1日1杯無料でラーメンを注文できる。また、池袋のばんからラーメンでは月額6800円の「ラーメンパスポート」、月額3000円の「トッピングパスポート」を展開している。毎日食べれば食費を削減できること間違いなしだが、食べすぎて寿命を削ることにならないよう注意すべし。

衣

服のサブスクを実際に利用した人に話を聞いてみた。Tさん(30歳・男性)はおしゃれに自信がなく、忙しくて服を買いに行く暇もなかった。そこで月額8000円のメンズファッションサブスクサービス「leapp」を利用開始。「毎月違う服を着られてテンションが上がるし、自分が選べないような服まで届くのも新鮮だった。気に入ったら買い取れるのもいい。ただ、社会人にとっても値段は高めだな」と思ったし、好みじゃない服が届くこともあったよ。サイズの調整ができないのも地味にマイナスポイントかな」

Tさんおすすめの使い方は

- ①「ここぞ!」というときに短期レンタル
 - ②何ヶ月か使ってお気に入りの服を買い取る
- だそう。センスに自信がないあなた、クロゼットがマンネリ化しているあなた、まずは短期集中で始めてみてはどうだろうか?

アラカルト

サブスク

住居のサブスクを紹介。まずは「ADdress」。月額4万4000円から日本各地の家に住み放題。都市部でサブ拠点として活用するもあり、地方部で別荘とするもあり、と何でもできそう。次は「Hafu」。月額30000円の一泊プランから8万2000円の泊まり放題プランまで段階を分けて設定されている。一番の特徴は世界中36ヶ国に家があること。休みの度に旅行する君たちにはおすすめのサービス。最後に「xrosshouse」。月額3万円から個室付きシェアアドアハウスに住むことができる。引っ越しし放題で、かつ都市部にたくさん物件を持っている。ただ、外部の人を部屋に入れてはいけないので、宅飲みばかりする早大生たちには向いてないかも。ちなみに早稲田大学には、月額100万で利用できるネカフェが22号館にあるらしい(?)

住

他

ここでは一風変わった生き物のサブスクを紹介しよう。一度は熱帯魚を飼ってみたいと思ったことはないだろうか。でも、初期費用が高いし、準備や手入れも面倒だし、とあまり現実的ではない。そんな人でも気軽に熱帯魚を飼育できるサブスクが「東京アクアガーデン」だ。月額1万2800円から水槽ごとレンタルできる。これだと少し高くて手が出にくいかもしれないが、植物ならお手ごろな値段で借りることができる。「GOOD GREEN」というサブスクは、月額9000円から本物の観葉植物を貸し出している。どちらもメンテナンスや交換などのサブスクが充実しているのので、部屋のレイアウトに困っている人は試してみたいだろうか。

「人生の夏休み」ともいわれる大学生ライフは、男子も女子もオシャレをしたい時期。「サロンでは美容師さんが完璧なスタイリングをしてくれるけど、普段からあんな素敵にはできない!」と悩む学生には、美容院のサブスク「MEZON」がおすすめだ。月1万7600円の平日通い放題コースなら、提携する全国900以上の美容院でシャンプーやスタイリングを利用することができる。また定額チケットコースでは月1万1150円で4枚のチケットが配布され、1枚でシャンプーやスタイリング、2枚ならヘアアレンジやヘッドスパといったヘアケアのサービスも楽しめる。キマッタヘアスタイルでデートに行くもよし、インターンに臨むもよし。どちらも遅刻すると元も子もないので、サロンへは時間に余裕を持って入店するようにしよう。

天国編

朝

高級ベッドの上で素敵な夢を見ていたわたしに、眩しい陽射しが優しくモーニングコール。眠い目をこすって大きなガラス窓の前に立つと、足元に広がるのは大都会、東京の街並みだ。「Spotify」でおしゃれなボサノヴァを流して、まずはナイトウェアから「メチャカリ」でレンタルした洋服に着替える。洗濯だって、ランドリーサービスを使えばいいから問題ナシ。朝ごはんは「Soup Stock Tokyo」のパックを開けるのもいいけど、今日はロビーラウンジで紅茶を飲むだけにしようかな。ラウンジでは、「Kindle Unlimited」でカポーティの『ティファニー朝食』を読む。朝から充実した一日の始まりだ。

昼

こんなに恵まれた生活をしていって、大学には行かなくていい。メイクは「RAXY」で届いたコスメを使って、自分のスイッチを入れる。アクセサリにはスパークルボックスのジュエリー。女子大生にしてはちょっとリッチすぎるかもしれない……。でも、キラキラの大学生活を送るためには、やっぱり高級感のある身なりの方がいいよね……。お昼ごはんは「potluck」のチケットを使ってどこかで外食しよう。 「bloomee」で届いたコスモスのブーケに挨拶して、それじゃ行ってきます！

内訳

帝国ホテル サービスアパートメントスタジオ
 (ハイロア) 420,000円
 +ランドリーサービス 30,000円
 ルームサービス 60,000円
 Spotify 学割プラン 480円
 メチャカリ プレミアムプラン 10,780円(税込)
 スーパースtock 12パックセット 7,500円
 Kindle Unlimited 980円 + 端末価格 8,980円
 RAXY 1ヶ月プラン 2,480円
 スパークルボックス プレミアムプラン 10,780円
 potluck 平日毎日1食プラン 10,584円
 bloomee リッチプラン (1,980円+送料 550円)
 x2回
 GODIVA ご褒美セット 2,160円
 Netflix スタンダードプラン 1,490円
 合計金額(帝国ホテルの宿泊税別) 571,274円

夜

大学からホテルに帰宅。すっかり暗くなって、窓の向こう側には東京の夜景が浮かび上がってきた。こんな景色にはジャズが最高にマッチする。まずはシャワーを浴びてさっぱりしたら、今日のご褒美に「GODIVA」のお菓子を少しつまむ。少し仮眠をとって疲れを癒すと、目覚めた時間は夜8時半。自分で夜ごはんを用意するのも面倒だし、ルームサービスにしちやあうかな。あ、今日のメニューはわたしが大好きなビーフカレーだ！ 料理が運ばれてくるまでのひととき、流しっぱなしにしたジャズを一旦止めて、ベッドに腰掛けてテレビをつける。そういえば、9時から「Netflix」でドラマの続きを観るつもりなんだ。夜景を見下ろしながら恋愛ドラマを楽しむ、至福の時間。この日々が一生続けばいいのに……。！

朝

近くのベッドの人を起こしてしまわないように静かに起きる。ドミトリタイプなので他の人と部屋を共有しているからだ。前までは「うるさいやつだ」とよく言われていたが、最近では全く言われなくなった。都心に住めて月4万というのだから十分にも程がある。目覚めきれない体を引きずって大学へ向かう。今日は忘れたけど明日こそは備え付けの洗濯機で洗濯しよう。

内訳

住+衣 XROSS HOUSE 39,800円
 ドミトリ(洗濯機利用可能)
 食 ぼんかりラーメン 6,800円
 野郎ラーメン 8,600円

天国と地獄のサブスク生活

サブスクの種類は増えに増え、もはやサブスクがない業界を探す方が難しい。サブスクのみで暮らすことなんて簡単だろう。衣

も食も住もなにもかも、サブスクに拠って

生きていく。天国と地獄と題し、手ごろさ

と快適さそれぞれに焦点を当てていくとい

う前提でサブスクだけで生きていくシミュ

レーションをしてみよう。

昼

そろそろお腹も空いてくる。地獄と言ったって、生活と銘打った以上は最低限生きていかなければいけない。というわけで昼ご飯の時間だ！ 何故だか食事のサブスクはラーメン屋がとて多いので、ラーメンを食べに行く。とってもおいしい！

夜

余韻に浸ってぼーっとしていると、気がついたらもう外は真っ暗。晩ご飯を食べよう。晩ご飯もやっぱりラーメン。とってもおいしい!! 一日一食利用できるサブスクで安いものは大体ラーメンなのだから仕方ない。店員さんは毎日食べにくる僕に奇異の目を向けるだろうし、誰がどう考えても体にいいはずがないけれど、それでこそ最低限の衣食住だろう。こうして地獄のサブスク生活の一日は終わる。

地獄編



サービス開始のきっかけ

—どのような背景でお墓のサブスクリプションサービスを始められましたか。

お客様から「遺骨の行き先はどうしたらいいですか」という質問がここ5年で増えたこと、す。本家（長男）であれば、すでにお寺の檀家（会員のようなもの）になっている場合も多いと思います。しかし最近では次男、三男さんが地方から都会、特に東京に出ることが増えました。その場合、ご両親が亡くなるとまず葬儀社を介してお寺を紹介されるのですが、檀家に入ると年会費がかかったり、色々な行事に出ないといけなかったりするんです。だから「お墓を作らず自宅で遺骨を管理したい」という方から「どうしたらいいですか」という質問を受けるんですが、お寺には「お墓を作りなよ」と返されるだけでしょ。そこで、「お寺の檀家にならなくてもお墓を持てるサービスが作れないだろうか」と考え始めたのがきっかけです。

—以前、貴サービスが紹介されたとき、高齢の方が自分の親を亡くし「供養を継続できない」という理由で利用されていましたね。

お墓を建てるにあたって、従来では地方でも150万円、都会になれば100〜300万円まで当たり前なのですが、経済状況によつては、お安めのお墓を探している方がいらっしゃいます。跡継ぎがいらっしゃらない家庭は特に迷うところだと思えます。

—なぜサブスクリプションサービスという形にしたのでしょうか。

経済的な部分と、お墓を持つことに対するハードルを下げるためです。初期費用で払うとなると、どんどん続いていくので、最初に一括だと結構な金額になります。十三回忌までやると、偲墓ですと契約していても100万円近くになってくるんです。それって私が本当に目指すところではなくて、やっぱり供養は続けて頂きたいですけど、情性で続けるのは望ましくない。今までは、三十三回忌や五十回忌を区切りに行っていました。供養をどこまで続けたいかというのが難しいので、サブスク型が向いていると思いました。檀家制度も、言ってみれば「やめられないサブスク」のような形です。そういった意味でも、お墓というのは月額費用で払っていただけ形が向いているのかな、とは思いましたね。

—問題は管理費、ということですか。

そうですね。偲墓の場合は月額3300円なんです。お客様の目線で見れば、一括で払うというよりも積み立てるような感覚で頂いた方がいいかと思えます。事業者目線の理由でいえば、やっぱり収入を1年先まで見通せるような形になるので、サブスクの方が経営が安定するんですよ。うちは仏壇・仏具店、要するに小売なんですけども、小売業だと翌年同月の売り上げがどれくらいになるか不安になるんです。売り上げが50%減とか、90%減とかサブスクリプションはそれがほぼなくなるので、さまざまな先行投資ができるようになるかなと思えますね。

究極のサブスクリプション

偲墓……

株式会社佛英堂が展開するお墓のサブスクリプションサービス。月額制でお墓を持つことができ、サービスの利用を停止した後は永代供養に切り替えられる。今回のインタビューは専務取締役の野呂英旦氏にお答えいただきました。

利用者について

—お寺側にはどのようなメリットがありますか。

無縁墓になるのを防げることで。檀家制度でも同様ですが、偲墓に契約していただいた方でも、契約者が病気で入院したり、亡くなってしまったりで連絡が途絶えたと、こちら側としてはどうすることもできません。その際、「支払いが1年間滞れば永代供養墓へ移動する権利はこちらにあります」という契約にしているんです。たとえば、奥さんのお墓を管理していた独居のお年寄りが亡くなってしまったという場合、こちらの判断で1年経った後に永代供養墓に入れさせていただくことができます。お墓参りに行った時、お寺の敷地をよく見ていただいたら分かると思いますが、古い石が積まれた区画が必ずあるんですよ。そういう状態がいつまでも続くのは土地がもつたないですし、お寺さんとしてもストレスを抱えながらその状態で放置しています。

—利用されているお客さんはどのような層が多いのでしょうか。

今のところは50代や60代の方からのお申し込みが集中しています。その世代が喪主を務められることが多いので。ただ、その方に偲墓を紹介してくださったのが、娘さんや息子さんという場合もあると思います。

—ユーザーには、どのような状況の方が多いですか。

始めたばかりのサービスということもあり、地元の方に利用していたケースが多いです。最近では地元の方でも「今後、引越する可能性があるかもしれない」とおっしゃっていて、あるお寺の檀家に一度なってしまうと、もうそこから（お墓を）動かすことは難しいんですね。なので、それを避けるためにも、フレキシブルな選択肢のある偲墓というサービスを選んでいただいた、という要因もあります。今のところ契約していただいている方には、そういう方が多いですね。

—コロナの影響はいかがでしょう。

偲墓自体はコロナ禍以降に生まれたサービスですが、世の中の風潮を見る限り、コロナでより一層、供養などに関する様式が簡略化されたかと思っています。お葬式って今はほとんど、家族葬以外開かれていないんですよ。皆さんの意識も、葬儀も含めて「簡単にできるのなら簡単にした方がいい」というのが本音だと思います。そういう意味で、受け入れられやすい時代になったと思えますね。

今後の展望

—今後の展望を教えてください。

「誰でも歩いてお墓参りに行けるような状況を作ること」です。現代ではお墓参りに行くため、車を何時間も走らせるのはザラだと思います。近所にお墓があつて、気軽にお墓参りに行けるという状況を目指したいなと思っています。お寺は全国に約7万7000か所あるんです。全国のコンビニが約5万5000か所なので、皆さんの家の徒歩圏内にお寺は確実にあるはずなんです。お墓に手を合わせるというのは、自分にとつてもいい行為だと思います。手軽に、そして気軽にお墓参りができるというのが、最も理想的だと思えますね。

